

王朝

開祖

都、天宮

出先・副都・仮宮

王墓

I 那珂つ国

II 那珂つ国+天之国

III 敵之國

IV 倭国(日高+天之国、高天)

V 豊葦原中つ国

VI 伊都国

VII 倭奴国(天地)

六代天神・天之尾羽張神

(六代倭王・面足神期)

(七代倭王・伊奘諾期)

豊受皇太神

(天照大神)

ヒミコ(日神)

饒速日(垂仁)

日神

後天系

系和

火瓊瓊杵

火火出見

磐余彦

VIII 大和朝廷

(神武天皇)

福岡平野那珂

福岡平野板付

唐津/福岡平野

福岡平野早良

福岡平野春日

糸島平野三雲

天宮の井原

天宮の平原

檀原(檀原市)

三輪(桜井市)

唐古

撰津三嶋

池上・曾根

三雲南小路遺跡

井原鎚溝遺跡

平原墳丘墓

撰津三嶋

宮津/淡路島(沼島)

唐古・鍵

纏向上之宮

纏向珠城宮

天宮の高千穂宮

笠沙/西都市妻/川内

高千穂宮(都城/霧島)

高千穂宮(宮崎)

檀原宮

吉野ヶ里

西都市妻

香椎宮

纏向石塚古墳

箸墓古墳の円壇/円墳

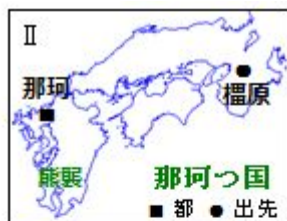
可愛山陵(新田神社背後)

高屋山稜

桜井茶臼山古墳(皇祖皇宗の墓)



前二世紀後半



縄文晩期



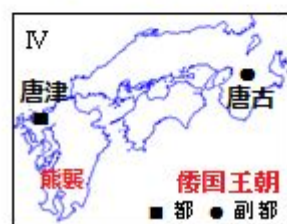
前一世紀中頃



前四世紀後半



一世紀前半



前三世紀後半



二四〇年前後  
邪馬台国の時代



一八〇年頃  
倭国大乱直前



二八〇年代  
神武東征の前



二二〇年代前半  
邪馬台国の時代  
天孫降臨

⑤ 東南に陸行すること五百里、伊都国（厳一門）に至る。

☆吉野ヶ里の厳家↓かつて糸島平野に伊都国王朝樹立。  
倭奴国王朝の成立後、吉野ヶ里にひきこもる。

⑥ 東南して奴国（倭奴国一門、山門）に至るまで百里。

⑧ 南して投馬国（西都市妻）に至る、水行二十日。

☆二二〇年代前半、天孫が吾田に降臨し笠沙宮を開く。  
直後、日神が畿内に遷座し、倭女王ヒミコに即位。

☆天孫は木花開耶姫に婿入りした後、西都市妻に遷都

⑨ 南して邪馬台国に至る、水行十日、陸行一月。

⑩ 奴国、これ女王の境界の尽くる所なり。其の南に狗奴国（日前、熊襲）ありて、男子を王と為す。女王に属さず。

☆二二八年、倭（邪馬台）女王ヒミコ、魏に朝貢。

☆この頃、海幸彦（火瓊瓊杵の兄・火照）が火瓊瓊杵の養子に入った火火出見（垂仁皇子）と争って惨敗。  
「僕は、汝命の守護人となりて仕え奉らむ」と誓約。

⑪ 其の八年（二四七年）、倭の女王卑弥呼、狗奴国の男王卑弥弓呼（火瓊瓊杵）と素より和せず。

☆双方は、和睦。結果、海幸彦が火明と饒速日を襲名して大倭に降臨。日本国を建国

☆二八〇年前後、饒速日が火火出見との争いを蒸し返す↓景行・日本武尊・仲哀の熊襲征伐  
磐余彦も火火出見を襲名して東征↓饒速日、降伏。その児が物部氏として大和朝廷を守護。

